

予防と検診で命を守る ～自治体主導による子宮頸がん対策～

10月27日(火) in 東京

◆ 10:00～13:00 有効で住民に役立つ子宮頸がん検診は
自治体の選択がカギを握る

1. あなたは子宮頸がんを知っていますか？
ー小学生のがん教育カリキュラム
2. 2024 年、厚生労働省の指針に大変革
ー子宮頸がん検診は HPV 検査へ
3. 質の悪い従来法の細胞診を選ぶか、
女性とコスパに優しい最新の HPV 検査を選ぶか？
4. 自治体にゆだねられている選択
ー住民の声、女性の声、議員からの質問
5. HPV 検診の自治体への具体的導入ノウハウ
ー最新エビデンスと DX
6. 子宮頸がんだけじゃない！
HPV ワクチンは、男女の中咽頭がん、
肛門がんも防ぐ優秀なワクチン
7. 地域から子宮頸がん予防を日本全国へ
ーひとつの成功体験が住民と自治体職員の意識向上と一体感へ



講師：今野良

【NPO子宮頸がんを考える市民の会理事長】

1984年自治医科大学医学部卒業。東北大学医学部産婦人科講師、山形県立中央病院産婦人科長を経て、2002年、自治医科大学附属大宮(現さいたま)医療センター助教授、2008年教授。2025年定年退官、名誉教授。

◆ 14:00～17:00 子宮頸がんを予防するという選択
～今だからできる～



1. 子宮頸がんになったら（原因とその経過）
2. 子宮頸がんは予防できる？
3. HPVワクチンの安全性について：
名古屋スタディから
4. 子宮頸がん全国自治体調査から見てきた
地域間格差
5. HPVワクチンと男性接種について

講師：片山佳代子

【群馬大学 学長特別補佐(ビッグデータ活用担当)
情報学研究科 准教授】

兼任) 神奈川県立がんセンター臨床研究所・がん教育ユニット長
兼任) 国立がん研究センターがん対策研究所
データサイエンス研究部外来研究員

順天堂大学大学院医学系研究科疫学・環境医学講座修了。博士(医学)。専門：がん疫学・健康行動科学・医療情報。がん登録由来のがん統計を使ったがん疫学研究をはじめ、社会実装、行動変容につなげる教育プログラム開発研究(特になん教育やがん研究における患者・市民参画に必要なカリキュラムなど)に携わっている。

(株)廣瀬行政研究所